

平成29年度 鳥取緑風高校 第三者評価 評価書

【講評】

鳥取緑風高校は、定時制課程と通信制課程をもち、就労しながら学ぶことができる特色ある高校である。「1. 生徒が目標を持ち主体的に取り組む授業づくりに努める。2. 個々の生徒の課題に向き合い、自立と成長を促す指導の充実に努める。3. 視野を広げ、他者と協力する体験活動の充実に努める。」以上のことを今年度の重点目標として定め、教育を推進している。

教育方針である真摯・自立・共生は、学習、進路決定のみならず、自己確立という大きな目的のうえで、より社会と密接に関わりながら教育を実践していくべき大切な指針となっている。

両課程において、学力向上、意欲向上と自信づくり、生徒の内面を理解する指導、自立を目指す生徒指導、体験活動の充実、集団への適応力の育成を目標課題として掲げ、それに向けて個性にあった指導を幅広く進めている。

本校の現状は、教育課程、進路指導、生徒の状況、組織運営、学校・家庭・地域の連携協力のいずれにおいても、非常に良い状態にあるといえる。

以下は、委員会として評価し、今後も継続・発展していただきたい主な事項である。

- ① 生徒が抱える諸課題に対し、教職員が愛情をもって一人ひとりに関わっている。
- ② 特に、教育相談活動は優れている。
- ③ 個々の生徒にあった教科の指導と、指導法における工夫がされている。
- ④ 外部の専門家を活用して、生徒に幅広い経験と学習をさせる教育が進んでいる。
- ⑤ 教職員間の風通しのよい人間関係が優れている。
- ⑥ 豊かな自然環境をいかしながら、地域との連携を目指している。

一方、以下は、今後改善していただきたい主な事項である。

- ① 今以上に興味のもてる授業となるよう、さらなる改善を望む。
- ② 生徒に対する支援は十分なされているので、今後は得意なことを伸ばす教育へと発展されることを望む。
- ③ 生徒自らが自己の健康管理ができるよう、自己管理能力を培っていただきたい。
- ④ グローバルな人材育成の取組を進めていただきたい。
- ⑤ 例えば、自分の考えを述べる一言スピーチや、個性をいかした創造的な活動を行うことによって、アウトプットへ誘導する指導を心がけていただきたい。
- ⑥ 生徒への教育相談に携わるカウンセラーが、非常に多くの相談を受け付けている現状がある。教育委員会と連携して、過負荷にならないようにしていただきたい。